



再興(再考)プロジェクト ～元祖 SDGs “草木塔の心” をみんなに～

副学長メッセージ

山形大学は、昨年から YU empowering with SDGs の方針に基づき、社会の持続可能な発展に向けた地域の取り組みを積極的に empower!(力づける)しています。

「自然と人間の共生」は、平成 16 年の法人化後に制定した本学の「5 つの基本理念」に明記され、「3 つの使命」と併せて本学における最重要概念となっています。

来年度から始まる第 4 期中期目標期間を前に、“元祖 SDGs” と言える「自然と人間の共生」を改めて再興(再考)し、広く学内外に発信する 4 つのプロジェクトを実施します。

皆さまのご理解とご協力を心よりお願い申し上げます。



副学長 林田 光祐
(YU-SDGs リーダー)

ご寄付について

詳細・ご寄付のお申込はこちらのページから▶

<https://www.yamagata-u.ac.jp/jp/fund/>

期間：令和 3 年 7 月 14 日～令和 4 年 3 月 31 日



1

「草木塔の心・説明碑」の建立

本学では「自然と人間の共生」を具体化し、山形独自の自然観を広めることを目的として、平成 19 年に「草木塔の心」碑を建立しました。今回仙道富士郎氏(元山形大学長)を発起人として、新たに「草木塔の心・説明碑」を建立し、その意義を SDGs の観点から再興します。

2

“草木塔の心”の普及

山形県を代表するローカル SDGs である“草木塔の心”を広く普及するためにリーフレットを作成し、本学基盤共通教育科目の教材とするとともに、県内外に配布します。

3

関係論文等のインターネット公開

「やまがた草木塔ネットワーク」等の協力を得て、これまで蓄積してきた『自然と人間の共生』及び『草木塔』に関する論文等を「機関リポジトリ」に登録し、広くインターネットに公開します。

4

公開講座「自然と人間の共生」の開催

「自然と人間の共生」を SDGs の観点で再考し、本学における最新の研究知見と教育実践、学生活動を披露する公開講座を開催します。さらにその成果を山形での SDGs の推進に活かします。

「自然に対する感謝の気持ちを持ちながら、 たおやかに歩みを進めていきましょう」

やまだい未来へつなぐプロジェクト第二弾の「草木塔の心・説明碑」建立事業の発起人である仙道富士郎先生（元山形大学学長）から皆さまへのメッセージをお届けします。

仙道富士郎元学長からのメッセージ

私たちは自然の懷に抱かれて生きています。しかし、そのことを忘れて、我が物顔にふるまった結果、遠くない将来、地球に生物が生存できない状況が到来する危険性さえ危惧されるようになりました。

いま私たちは、猛々しい心を捨て、私たちを育んでくれた自然に対する感謝の気持ちを持ちながら、たおやかに歩みを進めていくことが求められています。

草や木の命をも愛おしんで草木塔を建立した人々の優しい心に想いを寄せることは、私たちを今一度立ち止まらせ、自然と人間の共生を模索する道へと私たちを導いてくれるのではないのでしょうか。

林田副学長からのメッセージ

山形大学では、基本理念の根幹となる考え方で、元祖 SDGs と言える「自然と人間の共生」を象徴する「草木塔の心」碑を、平成 19 年に小白川キャンパス内に建立しました。

このたび、仙道先生の発起により、この碑を SDGs の観点も加味して再考するための「草木塔の心・説明碑」を建立し、本学学生・教職員はもとより、広く市民の皆さまとその精神を共有したいと企画しました。

皆さまからのご理解とご協力を心よりお願い申し上げます。



副学長 林田 光祐
(YU-SDGs リーダー)

「草木塔の心・説明碑」を建立します

平成 19 年に人文学部 3 号館南側に建立した「草木塔の心碑」には、本学の基本理念である「自然と人間の共生」と、山形独自の自然観を象徴する「草木塔」について特段の説明書きがないことから、このたび、それらの説明文を刻んだ碑を傍らに建立し（令和 3 年 11 月まで）、多くの方にご覧いただくことによって、「自然と人間の共生」を考えていただくきっかけとさせていただきます。



南米パラグアイ日系移住地草木塔の前にて奥様と

ご寄付について

詳細・ご寄付のお申込はこちらのページから▶

<https://www.yamagata-u.ac.jp/jp/fund/>

期間：令和 3 年 8 月 1 日～令和 4 年 3 月 31 日

